

平成 30 年度南海トラフ地震対策に関する調査票

法人名 【社会福祉法人高知西南福祉協会】 事業所名 【障害者支援施設 ピアハウスすくも】

1. 自宅被害（津波浸水被害）

※津波浸水地域における被災状況（高知県防災マップが示す最高水位）

被害状況	最大浸水	入所利用者	通所利用者	職員
被害なし		14		8
床下浸水	0.5m 以下	1		1
床上浸水	1.0m			1
木造家屋の半数が全壊	2.0m	4		10
木造家屋の殆どが全壊	3.0m	1		
2 階建ての建物が水没	5.0m 以上	7		
3 階建ての水没	10m以上	3		
合計		30		20

※通園児童は調査対象から除く

2. 施設被害

※津波浸水地域における被災状況は（高知県防災マップ参照）

- ① 施設建屋の損壊（極めて高い・**高い**・中・低い）

県津波浸水想定図で浸水予想地域に該当しないが、土砂災害警戒区域であるため地震の規模により建屋の損壊高いと考える。

- ② 進入道路等の損壊（**極めて高い**・高い・中・低い）

施設設置の周辺地区が3～5mの浸水区域で、孤立が予想される

3. 準備状況（入所 30 名 職員 7 名）

- ① ライフラインの確保方法（電気、熱（ガソリン他）、水）**有**・無

電気	災害用自家発電機（ヤンマーオートパック AP45C） 懐中電灯（LED 2台、その他3台）
燃料	燃料 軽油 950ℓ 公用車ガソリン 6台（通常ガソリンが半分以下にならないようにしている） レスキューフーズ 発熱セット（各24袋入）1箱
ガス	カセットガスコンロ 2台
飲料水	水 2ℓ×6本（1日⇨3ℓ）
生活用水	

② 非常食糧・医薬品等の保有状況（主食、副食、医薬品、他）  有 ・ 無

主食	白粥 590 缶、梅粥 100 缶、プリン状粥 48 缶 ローリングストック分 (米 50k g、パスタ、小麦粉 2k g、みそ等調味料)	主食、副食とも 1 週間分×30 名
副食	味噌汁缶 216 缶、カレー 120 缶、さば缶 48 缶 防災用肉じゃが 50 袋、牛すき焼き缶 96 缶 茶わん蒸し 60 個、鶏そぼろ缶 72 缶 鶏うま煮缶 48 缶、牛丼の具 50 袋	
特別食	いわし梅煮（ミキサー）2 袋、照り焼きチキン（ミキサー）4 袋 豆腐寄せささみ 12 個、豆腐寄せ鮭 1 個 間食用）災害用ようかん 100 本（パニック者用）	1 週間分×1 名
定期薬	2 週間分	
医薬品	解熱剤 市販薬 風薬 1 箱	

③ トイレの準備状況

ポータブルトイレ 9 台

④ 通信手段（無線機、衛星電話機、安否確認システム、他）  有 ・ 無  
種類・メーカー・電話番号等

衛星電話	無
MCA 無線	無
無線機	2 台 (icom)
安否確認システム	無
その他	

⑤ 利用者情報の管理方法（障害に対する留意事項、服薬含む）  有 ・ 無

⑥ BCP 策定の有無（利用者の安否確認含む）  有 ・ 無

⑦ おすすめの備蓄品、整備品（簡単に理由もご記入下さい）

特になし

残念だった備蓄品、整備品（簡単に理由もご記入下さい）

特になし

4. 避難場所

施設内 福祉避難場所（地元宿毛市）として指定を受けている

5. 福祉避難所の指定

- ・  受けている      ・  受けていない

①福祉避難所の指定を受けている場合、福祉避難所の開設や運営に関する訓練や取り決めがあればご記入下さい。

協定 平成 24 年 12 月 14 日 開設期間 災害発生から原則 7 日以内

内容 宿毛市との災害発生時における福祉避難所の設置運営に関する協定締結

災害発生時、要援護者等を避難させることにより、要援護者が日常生活に支障なく避難生活を送ることができることを目的とする。

以上